

こたえ ホタルの光

ひょうじゅん 標準 ①

ホタルの光

① 初夏の夜、川のほとりで、小さな光がいたり消えたりするのを見たことがありますか。あれは、ゲンジボタルという昆虫です。ホタルは、なぜ光るのでしょうか。

② ホタルの光は、おしりの近くにある「発光器」という部分から出ています。電球の光とちがって、ほとんど熱を出さないのです、さわっても熱くありません。

③ 成虫のホタルが光るのは、仲間に合図を送るためです。おすは光りながら飛び、草や葉の上にいるめすが、それに光で答えます。こうして、おすとめすは出会うことができるのです。

④ おもしろいことに、ゲンジボタルの光り方は、地域によってちがいます。東日本ではおよそ四秒ごとに、西日本ではおよそ二秒ごとに、そろって光るのです。

⑤ ゲンジボタルは、一生の大部分を、幼虫として水の中ですごします。幼虫は、カワニナという小さな貝を食べて育ちます。そして春になると、川岸の土にもぐってさなぎになり、やがて成虫になります。

⑥ ところが、成虫として光りながら飛べるのは、わずか一週間ほどです。ホタルの光を守るためには、カワニナがすめるきれいな川を守ることが大切なのです。

1 ホタルの光は、体のどこから出ていますか。本文から三字で書きぬきましよう。

発光器

2 ホタルの光は、電球の光とくらべて、どんなところがちがいますか。

ほとんど熱を出さないのです、さわっても熱くないところ。

3 成虫のホタルは、何のために光るのですか。本文から八字で書きぬきましよう。

仲間に合図を送るため。

4 ④のだん落に書かれていることに合うものをえらび、記号に○をつけましよう。

ア ゲンジボタルは、東日本にしかない。

イ ゲンジボタルの光り方は、地域によってちがう。

ウ 西日本のゲンジボタルは、光らない。

エ 東日本のゲンジボタルは、二秒ごとに光る。

5 筆者がいちばん伝えたいことが書かれているのは、どのだん落ですか。番号で答えましよう。

6 のだん落

おうちの方へ

- 2は「ほとんど熱を出さないところ。」でも正解です。
- 5は、最後の段落の「～が大切なのです」に注目します。説明文では、筆者の考えはふつう最後の段落に書かれます。
- 文章は、公的な資料で事実をたしかめて、このプリントのために書きおろしたものです。